

【議題 3】 第 9 期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案） パブリックコメント・E モニターによる意見聴取の実施結果について

実施期間	令和 6 年 1 月 15 日（月曜日）～1 月 31 日（水曜日）
意見提出者数	73 人（うち E モニター 70 人）
主な意見と回答	別添のとおり
閲覧箇所	福祉部高齢福祉課、市政情報コーナー、各支所・出張所、各交流館、市ホームページ、E モニター
意見提出方法	直接持ち込み、郵送、ファックス、電子メール

【参考】意見分類と件数

分類名	件数
① 分野 1 介護予防・健康づくり 施策 1 ふれあい・健康づくり	4 件
② 分野 1 介護予防・健康づくり 施策 2 生きがいつくり・就労支援	10 件
③ 分野 2 地域共生 施策 1 市民理解の促進	1 件
④ 分野 2 地域共生 施策 4 重層的な支援	5 件
⑤ 分野 3 介護人材 施策 1 介護に関わる人材への支援	6 件
⑥ 分野 5 日常生活 施策 1 生活支援	1 件
⑦ II 認知症施策 施策 1 普及啓発・本人発信支援	1 件
⑧ II 認知症施策 施策 2 認知症予防	3 件
⑨ II 認知症施策 施策 3 認知症本人・介護者への支援	2 件
⑩ 介護保険事業 III 介護保険サービス	7 件
⑪ 介護保険事業 IV 施設整備計画	1 件
⑫ 介護保険事業 V 介護保険料	8 件
⑬ 計画全般	18 件
⑭ その他（感想等）	6 件
計	73 件

① 分野1 介護予防・健康づくり 施策1 ふれあい・健康づくり

意見の概要	件数	豊田市の考え
高齢者向けの子ども食堂があれば、ふれあい機会の創出につながる。	1	社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーが地域住民のニーズを拾い上げ、属性や世代に関わらない住民主体の交流の場の創設支援を行っています。
認知症・介護予防は健康づくりが大切である。	2	「介護予防・健康づくりに通じる社会参加」を重点施策に掲げるなど、高齢者がいつまでも元気でいられるための取組にも力を入れていきます。社会参加は、高齢者の介護予防（フレイル、認知症予防を含む）や健康づくりに好影響をもたらすと期待されています。
世代ごとの活動ではなく、高齢者と子供たちのふれあい機会創出など、皆が助け合える社会であってほしい。	1	介護保険制度に関する出前講座や学校教育における高齢者の理解促進、認知症サポーターの養成等を通じて認知症や介護の現状及び市の施策の市民理解を促進しています。 地域共生社会（一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる包摂的な社会）の実現を図るためには、制度・分野の枠や支える側・支えられる側という従来の関係を超え、人と人、人と社会がつながり、助け合いながら暮らしていく必要があります。そのため、計画に掲げた重点施策を含め様々な取組を、必要に応じて属性や世代を超え、多様な機関と連携し、推進していきます。

小計

4件

②分野 1 介護予防・健康づくり 施策 2 生きがいつくり・就労支援

意見の概要	件数	豊田市の考え
高齢者の社会参画を促し、社会の一員であるというやりがいを持っていただき、介護が必要な人を減らして行くことが必要である。	4	今後一層高齢者が増加が見込まれているため、地域共生社会の実現を図っていきます。
高齢者の雇用の場を増やしてほしい。	3	働き方改革推進事業を通じて、市内企業に対し、高齢者も含め、多様な人材が活躍できる職場環境づくりの推進への支援を進めてまいります。シルバー人材センターでは、新たな仕事を受注するために企業を訪問するなど、業務の幅を広げられるように職業開拓に努めています。また、既存業務の詳細説明や希望する内容にあった業務を紹介する就業相談会を実施したり、新しい職種に関心を持ってもらうための講習会も開催しています。
健康寿命の延伸を図るためには、各個人のリテラシーの向上と意思が必要で、そこに働きかける啓発を根気強く、継続していくことが重要である。	1	啓発について、介護保険制度に関する出前講座や学校教育における高齢者の理解促進、認知症サポーターの養成等を通じて認知症や介護の現状及び市の施策の市民理解を促進していきます。
健康維持・介護予防、認知症予防に、民間企業当と行政で連携し、力を入れて取り組んでもらいたい。	2	「介護予防・健康づくりに通じる社会参加」を重点施策に掲げ、民間の創意工夫による様々な介護予防事業を展開する「ずっと元気！プロジェクト」に取り組むほか、官民連携の枠組みも活用し、高齢者がいつまでも元気でいられるための取組を推進していきます。

小計 10 件

③ 分野 2 地域共生 施策 1 市民理解の促進

意見の概要	件数	豊田市の考え
同じ地域に助けを必要としている人が、いるのかいないのかも知らない。	1	高齢者が安心して暮らすことができるように助け合い、支え合える地域をつくるとともに、地域包括支援センター、民生委員だけではなく、地域住民や民間事業等と連携して、支援が必要な人を把握し、支援につなげる取組を推進していきます。

小計 1 件

④ 分野 2 地域共生 施策 4 重層的な支援

意見の概要	件数	豊田市の考え
支援体制の充実が望まれる。	4	困りごとの複雑・複合化に対し、支援手段や支援機関の重なり合いにより課題解決を目指します。既存制度や専門機関の活用をはじめ、新たに身寄りのない市民が安心安全に生活できる環境整備に取り組みます。地域の医療・介護関係者が連携し、状況に応じて必要な支援が提供できる体制の構築を図ります。
ひとり暮らしの高齢者の支援が課題である。	1	ひとり暮らし高齢者は今度一層増加することが見込まれます。高齢者が安心して暮らすことできるように助け合い、支え合える地域をつくとともに、地域包括支援センター、民生委員だけではなく、地域住民や民間事業等と連携して、支援が必要な人を把握し、支援につなげる取組を推進していきます。

小計

5 件

⑤ 分野 3 介護人材 施策 1 介護に関わる人材への支援

意見の概要	件数	豊田市の考え
介護人材の確保が重要である。	1	働きやすい職場環境づくりや業務改善・生産性向上につながる介護現場の革新に向けた取組、介護分野への就労促進に関する取組など、多角的な取組を通して、介護人材の確保・育成・定着を支援します。
介護人材の確保の問題は、処遇の改善がないと難しいと思う。賃金の改善及び多様な勤務形態導入が必要である。	3	給与水準の課題は本市としても認識していますが、介護報酬の基準額は、厚生労働大臣が審議会の意見をもとに決定するものとして介護保険法で定められています。第9期計画期間の報酬改定は、1.59%の引き上げとなります。そうした状況において、本市では、介護人材支援基礎研修の実施や職場改善コーディネーター派遣等による職場環境向上支援の取組を通して、働きやすい職場づくりの支援を行っていきます。
介護する家族の負担が多い。	2	家族介護支援として、ショートステイの利用支援や仕事と介護の両立支援につながる取組の推進を行い、在宅介護の負担軽減を図っていきます。

小計

6 件

⑥ 分野 5 日常生活 施策 1 生活支援

意見の概要	件数	豊田市の考え
<p>おでかけパスの対象年齢は65歳以上が良いと思う。高齢者が外出することで、健康で生活ができるようになってもらいたい。</p>	1	<p>おでかけパス70の対象年齢は、運転免許更新時の高齢者講習の義務化やそれをきっかけに運転継続を検討される方がいることなどを考慮して、現在は70歳以上と設定しています。</p> <p>おでかけパス70については、令和3年10月に運用を開始して以降、販売実績は増加傾向にあり、平日を含めて多くの方がおいでんバスを利用されていると認識しています。</p> <p>今後も外出促進を通じた健康づくりにつながるよう、利用者のニーズ把握に努め、更なる改善に努めていきます。</p>

小計

1件

⑦ II 認知症施策 施策 1 普及啓発・本人発信支援

意見の概要	件数	豊田市の考え
<p>会社で認知症サポーター養成講座を受講したが大変参考になった。現役世代への理解を継続して広めていくことが大切だと思う。</p>	1	<p>全世代を対象に、認知症サポーター養成講座の受講促進に努めていきます。</p>

小計

1件

⑧ II 認知症施策 施策2 認知症予防

意見の概要	件数	豊田市の考え
早期の認知症予備軍の発見が必要である。	2	認知症に早い段階で気づくことで、早めの治療により症状が回復する場合や、適切な治療を受けることで進行を遅らせることができる場合もあります。そのため、市ホームページ等を活用し、認知症の理解促進に取り組み、認知症の早期発見についても重点的に周知していきます。
高齢者施設に入居したことで認知面が低下しないように援助が必要である。	1	介護事業所による認知症への適切な対応を図る取組として、事業所職員の専門的研修の受講支援を検討します。また、施設入所者のみならず、健常者も含めた認知症予防に努めていきます。

小計

3件

⑨ II 認知症施策 施策3 認知症本人・介護者への支援

意見の概要	件数	豊田市の考え
認知機能が低下する前の備えである、国の制度である「任意後見」は「法定後見」と異なり取消権が無いなど、欠陥があることを周知し、改善すべきであると考えます。	1	制度そのもののあり方については、国の第二期成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組が進むものと認識しており、本市としても国の動向を注視していきます。本市において制度に関する啓発を行う際は、市民の方に制度の違いを含めて内容を理解していただけるように丁寧な説明を行っていきます。
認知症でも安心して暮らせること、早期治療開始で進行を抑えられる事がもっと知れ渡る施策はぜひ進めていただきたい。	1	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立し、令和6年1月に施行されました。認知症施策は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるように、総合的かつ計画的な推進が求められています。認知症の早期発見や早期治療の重要性を含め、全世代に向けた認知症に関する情報発信とともに、認知症の人とその家族が、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会を目指し、医療従事者も含めた認知症に関する理解促進に努めていきます。

小計

2件

⑩ 介護保険事業 Ⅲ 介護保険サービス

意見の概要	件数	豊田市の考え
介護制度やサービスの正しい理解が必要である。	4	ガイドブックの配布や出前講座などを活用し、介護保険制度及び各種の支援制度をわかりやすく周知していきます。
本市の介護保険の認定率、給付額が全国平均よりも低いのはなぜか。理由を明らかにして施策に反映していただきたい。	2	本市の認定率と第1号被保険者1人当たり給付月額が全国平均よりも低い要因として、一般世帯総数に占める高齢者単身世帯の割合が低いことのほか、家族介護支援の状況など様々な要素が関係していると考えられます。引き続き本市の特徴の把握に努め、課題が発見される場合には、施策への反映に努めていきます。
施設整備していく中で、ベッド数は確保されていくが、整備されたベッド数がきちんと稼働できるかどうか、きちんと視野に入れて頂き、人材確保の強化と合わせて具体的に計画に入れ込むように工夫してほしい。	1	第9期計画では、ニーズに応じた施設整備を推進するとともに、施設サービスにおける人材不足解消につながる取組として、介護人材ベースアップ支援や職場環境向上支援を新たに行っていきます。こうした取組により働きやすい職場づくりや業務改善・生産性向上につながる介護現場の革新を支援し、安定的な介護サービスの提供を支えていきます。

小計

7件

⑪ 介護保険事業 Ⅳ 施設整備計画

意見の概要	件数	豊田市の考え
高齢者の福祉施設を増やす必要が出て来ると思う。	1	介護施設について、ニーズに応じた施設整備を行います。

小計

1件

⑫ 介護保険事業 V 介護保険料

意見の概要	件数	豊田市の考え
保険料の引き上げはやめていただきたい。	3	高齢者の負担（介護保険料）については、応能負担の原則に基づき、低所得者の負担軽減を行います。過去の介護給付費の余剰分を基金として蓄え、必要時に取り崩すことで、急激な保険料の上昇を抑える運用をしています。第9期計画期間の介護保険料基準月額 は、基金を活用することにより、第8期計画時から200円低い5300円としています。
高齢者の医療費は安くしてほしい。	1	65歳以上で一定の要件を満たす障がい者手帳をお持ちの方や、75歳以上で市県民税非課税世帯のうち、ひとり暮らし高齢者及び介護保険の要介護認定3以上の方などは、福祉給付金制度で医療費自己負担分を全額現物給付（窓口無料）で助成しています。
保険料の上昇は仕方ないが、若い人の負担にならないことが必要である。	3	介護保険制度では介護サービスにかかる費用の総額（利用者負担を除く）のうち、第1号被保険者（65歳以上の人）が23%、第2号被保険者（40歳～64歳の人）が27%をそれぞれ負担しており、その割合は国の政令により決定しています。本市においては、介護給付適正化に向けた取組や介護予防・健康づくりに通じる社会参加を促進する取組等を通して、将来の介護保険料の抑制に努めていきます。
介護保険料は、使わない健康な人達に返金する制度があれば良い。	1	介護保険の基本的な考え方として、介護予防・健康増進に努めること及び共同連帯の理念に基づき費用を公平に負担することが国民の努力と義務として介護保険法で定められています。

小計

8件

意見の概要	件数	豊田市の考え
計画に位置付けた事業に対して、優先順位をつけ、限られた予算内で実行することが大切である。	7	計画に掲げた重点施策を含め様々な取組を「総合指標」、「成果指標」、「活動指標」により評価し、事業を見直しながら推進していきます。
様々な立場や見方で計画を策定していくことが必要だと思う。	2	学識経験者、医療・保健福祉関係者、公募市民等で構成された審議会の意見や高齢者、介護を受けている人とその家族、関係団体等への調査・ヒアリングで得た意見を踏まえて計画を策定しました。
情報量が多すぎる。コンパクトにまとめたうえで広報していくことが重要である。	9	当計画は市ホームページへの掲載や概要版を作成し配布することにより、市民への周知を図っていきます。また、出前講座等を通じて市民理解の推進に取り組みます。

小計

18件